

フィリモンに達する書

一 パワエル、イイススハリストスの囚たる者、及び兄弟ティモフ
エイは、書して、至愛なるフィリモン、我等の同労者、二 及び至愛な
る姉妹アプフィヤ、及び我等の同戦者アルヒツプ、并に爾が家の
教會に達す。三 願はくは恩寵と平安とは、神我等の父及び主イイス
スハリストスより爾等に賜らんことを。四 我恒に我が祈禱の中に
爾を念ひて、我が神に感謝す、五 爾の愛及び主イイススと衆聖徒
とに於ける信を聞くに因る。六 願はくは爾が神の共與は力行して、
爾等の中に於て、ハリストス イイススに由る凡の善を知るを致さ
ん。七 蓋我等は爾の愛に因りて、大なる喜と慰とを得たり、兄
よ、爾に由りて、聖徒の心安んぜられたればなり。八 故に我ハリス
トスに在りて毅然として、爲すべきと所を爾に命ずるを得と雖、
九 寧愛の故を以て、爾に求む、我是くの如きパワエル、老いたる者、
今猶イイススハリストスの囚と爲れる者は、一〇 我が子オニシム、
我が縲紲の中に生みし者の爲に、爾に求む。一一 彼先には、爾に益
なき者たりしが、今は爾及び我に益ある者と爲れり、我彼を爾に歸
す。一二 爾彼を我が心として受けよ。一三 我彼を我が側に留めて、
我が福音の爲に受くる所の縲紲の中に、爾に代りて我に事へしめん
ことを望めり、一四 然れども爾の旨を得ずしては、我何をも爲すこ

とを欲せざりき、爾の善事は己むを得ざるが如くならずして、心願
に由らん爲なり。一五 蓋知らず、彼が暫時爾に離れしは、或は爾
が永く彼を受けん爲、一六 己に僕に如くならず、乃僕に越えて、我
が甚愛する所爾が、肉體に於ても主に於ても更に愛する所の兄弟
として受けん爲ならん。一七 故に若し爾我を友と爲さば、彼を受く
ること我の如くせよ。一八 彼若し爾を侵し、或は爾に負ふ所あら
ば、是を我に歸せよ。一九 我パワエル手つから之を書せり、我償は
ん、我爾は己を以て我に負へりと言はず。二〇 然り、兄よ、我に爾
より主に於て得る所あらしめよ、我が心を主に於て安んぜしめよ。
二一 我爾が順はんことを深く信じて、之を爾に書せり、我知る、爾
は我が言ふ所よりも多く爲さん。二二 爾且我が爲に寓所を備へよ、
蓋我信ず、爾等の祈禱に由りて、我の爾等に賜らんことを。二三
ハリストス イイススに縁りて我と偕に囚と爲れるエパfras、及
び我の同労者マルコ、アリストアルフ、デイマス、ルカ爾の安を問ふ。
二四 願はくは我等の主イイススハリストスの恩寵は爾等の神と
偕に在らんことを、「アミン」。